



CHAPTER 54

SNMP ifIndex パーシステンス

- 「SNMP ifIndex パーシステンスの前提条件」 (P.54-1)
- 「SNMP ifIndex パーシステンスの制約事項」 (P.54-1)
- 「SNMP ifIndex パーシステンスについて」 (P.54-2)
- 「SNMP ifIndex パーシステンスのデフォルト設定」 (P.54-2)
- 「SNMP ifIndex パーシステンスの設定方法」 (P.54-2)



(注)

- この章で使用しているコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の資料を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11846/prod_command_reference_list.html

- Cisco IOS Release 15.1SY は、イーサネット インターフェイスだけをサポートしています。Cisco IOS Release 15.1SY は、WAN 機能またはコマンドをサポートしていません。



ヒント Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの詳細（設定例およびトラブルシューティング情報を含む）については、次のページに示されるドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd_products_support_series_home.html

技術マニュアルのアイデア フォーラムに参加する

SNMP ifIndex パーシステンスの前提条件

なし。

SNMP ifIndex パーシステンスの制約事項

なし。

SNMP ifIndex パーシステンスについて

SNMP ifIndex パーシステンス機能は、スイッチが再起動するときに保持され使用されているインターフェイス インデックス (ifIndex) 値を提供します。ifIndex 値は、物理または、論理インターフェイスに関連する一意の識別番号です。

関連する RFC では、特定の ifIndex 値とインターフェイス間のやりとりが、スイッチの再起動時に維持されているための要件はありませんが、多くのアプリケーション (たとえば、デバイス インベントリ、課金情報、障害検出) はこのやりとりの維持を必要とします。

インターフェイスを ifIndex に関連付けるのに、一定のインターバルでスイッチをポーリングすることができますが、定期的にポーリングすることは実用的ではありません。SNMP ifIndex パーシステンス機能は、持続的な ifIndex 値を提供し、それによってインターフェイスをポーリングする必要がなくなります。

次の定義は、RFC 2233 『The Interfaces Group MIB using SMIV2』に基づいています。次の用語は、Interfaces MIB (IF-MIB) に含まれる値です。

- **ifIndex** : 一意の番号 (ゼロより大きい) で、各インターフェイスをそのインターフェイスの SNMP 識別に関して識別します。
- **ifName** : テキストベースのインターフェイス名 (例: ethernet 3/1)。
- **ifDescr** : インターフェイスの記述。この説明用の推奨情報としては、メーカー名、製品名、インターフェイスのハードウェアとソフトウェアのバージョンがあります。

SNMP ifIndex パーシステンスのデフォルト設定

SNMP ifIndex パーシステンスは、デフォルトでディセーブルになります。

SNMP ifIndex パーシステンスの設定方法

- 「[SNMP ifIndex パーシステンスのグローバルなイネーブル化](#)」 (P.54-2)
- 「[特定のインターフェイス上における SNMP ifIndex パーシステンスのイネーブル化およびディセーブル化](#)」 (P.54-3)

SNMP ifIndex パーシステンスのグローバルなイネーブル化

SNMP ifIndex パーシステンスをグローバルにイネーブルにするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router(config)# snmp-server ifindex persist	SNMP ifIndex パーシステンスをグローバルにイネーブルにします。

次の例では、SNMP ifIndex パーシステンスがすべてのインターフェイスでイネーブルにされます。

```
router(config)# snmp-server ifindex persist
```

SNMP ifIndex パーシステンスのグローバルなディセーブル化

SNMP ifIndex パーシステンスをイネーブルにしたあとディセーブルにするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router(config)# no snmp-server ifindex persist	SNMP ifIndex パーシステンスをグローバルにディセーブルにします。

次の例では、SNMP ifIndex パーシステンスがすべてのインターフェイスでディセーブルにされます。

```
router(config)# no snmp-server ifindex persist
```

特定のインターフェイス上における SNMP ifIndex パーシステンスのイネーブル化およびディセーブル化

特定のインターフェイス上でだけ、SNMP ifIndex パーシステンスをイネーブルにするには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Router(config)# interface {vlan vlan_ID} {type slot/port} {port-channel port_channel_number}	設定するインターフェイスを選択します。
ステップ2	Router(config-if)# snmp ifindex persist	特定のインターフェイスで SNMP ifIndex パーシステンスをイネーブルにします。
ステップ3	Router(config-if)# exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。



(注) **[no] snmp ifindex persistence** インターフェイス コマンドは、サブインターフェイスでは使用できません。インターフェイスに適用されるコマンドは、そのインターフェイスに関連するすべてのサブインターフェイスに自動的に適用されます。

次の例では、SNMP ifIndex パーシステンスが、インターフェイス Ethernet 3/1 でだけイネーブルになります。

```
router(config)# interface ethernet 3/1
router(config-if)# snmp ifindex persist
router(config-if)# exit
```

次の例では、SNMP ifIndex パーシステンスが、インターフェイス Ethernet 3/1 でだけディセーブルになります。

```
router(config)# interface ethernet 3/1
router(config-if)# no snmp ifindex persist
router(config-if)# exit
```

特定のインターフェイスにおける SNMP ifIndex パーシステンス設定の消去

インターフェイス固有の SNMP ifIndex パーシステンス設定を消去し、インターフェイスがグローバル コンフィギュレーション設定を使用するように設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Router(config)# interface type slot/port	指定したインターフェイスに対してインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。インターフェイス コマンドの構文は使用しているプラットフォームにより異なることに注意してください。
ステップ2	Router(config-if)# snmp ifindex clear	インターフェイス固有の SNMP ifIndex パーシステンス設定を消去し、グローバル コンフィギュレーション設定に戻します。
ステップ3	Router(config-if)# exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。

次の例では、インターフェイス Ethernet 3/1 における SNMP ifIndex パーシステンスに対する以前の設定を、コンフィギュレーションから削除します。SNMP ifIndex パーシステンスがグローバルにイネーブルに設定されている場合、SNMP ifIndex パーシステンスはインターフェイス Ethernet 3/1 でイネーブルになります。SNMP ifIndex パーシステンスがグローバルにディセーブルに設定されている場合、SNMP ifIndex パーシステンスは、インターフェイス Ethernet 3/1 でディセーブルになります。

```
router(config)# interface ethernet 3/1
router(config-if)# snmp ifindex clear
router(config-if)# exit
```



ヒント Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの詳細（設定例およびトラブルシューティング情報を含む）については、次のページに示されるドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd_products_support_series_home.html

技術マニュアルのアイデア フォーラムに参加する